

● 菅原小5年モーターショー

枚方市立菅原小学校

教科書で自動車の生産について学んだ後、自分たちで車のコンセプト・機能・デザインなどを検討し、モーターショーとしてプレゼンテーションを行いました。

その際、出張授業で学んだ「**困りごとの解決や、願いをかなえるために、何かを掛け合わせ、新たな価値を生み出す**」というロッテノベーションの考え方を活用しました。「長旅で疲れる・酔わないように、何を掛け合わせたらよいか…」など、自分たちならではのアイデアで新たな自動車を考えることができました。



▲リサーチをして「困りごと」を特定

この車のコンセプトは、
目が見えない人のための車です。
自動でシートベルトをしてくれて、
1人でも安心して乗れます。



▲児童のアイデアスケッチ

- 学年:5年生
- 教科:社会
『未来をつくり出す工業生産』
- チャレンジ期間:3時間



▲各クラスでモーターショーとして発表



先生の声

社会の授業中、子どもたちから「**これ、かけ算の考え方が使える!**」という声が出て、驚きました。そこから、「モーターショー」という授業アイデアが浮かび、学年で取り組みました。

どのグループのアイデアも、**使う人・購入者の視点で考えていて**、とても深い学習ができました。

● 自身の生活や学校生活×SDGs

大阪市立南百済小学校

5年生から2年間学習してきたSDGsについて、「自分たちができること」を考え、学習発表会で発信しました。

その時に、思考の仕方として「ロッテ イノベーションチャレンジ」で学んだ「**かけ合わせて考える**」を用いました。

「これまでになかったアイデア」を生み出すだけでなく、**これまで当たり前に取り組んでいることに対して、SDGsの視点で意味を見出し、価値を上乘せする、まさに『かけ合わせる』アイデア**がたくさん出てきて、とてもよい学習になりました。



▲思考の仕方をいかす



▲学習発表会で保護者・地域に発信



▲児童のプレゼンテーション



先生の声

探究的な学習を進めるうえで、とても役に立つ思考の仕方を教えてもらいました。そしてそれを、ロッテさんから直接学ぶことができたことは、**キャリア教育としても非常に価値のある**ものでした。保護者・地域の方からも、「本当に、自分事に考えられている」と高い評価をいただきました。